



浄土流法要記

二拾

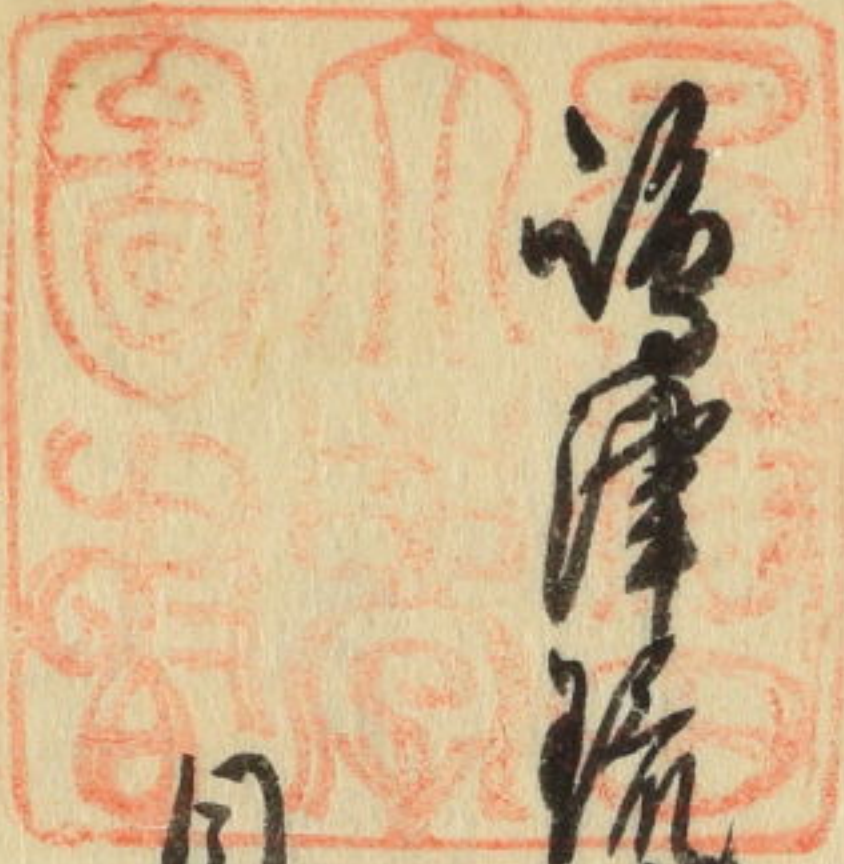
^ 13
3299
20



門 八 13
3299
卷 20

中

治平流軍勢紀卷之五拾



目錄

大正十年八月廿九
本大學出版部

茶磯

- 一 為親子或季候小和年心後事
- 一 并博覧海内情与海軍事
- 一 中良將劉文知里所物事
- 一 并津吏人送所力之自教事

まう〜切丸きりまるの事ことあつたさ
ら海うみ〜乳ちゆう体たいあま〜り入いる
あ〜世よ居いる物ものは合あ戦せん〜勝か城じやう
とま丸まる〜之これも皮かわ〜て出いて放はなち
たぐ一いち城じやう仲なつも孤こ所しょ〜たは神かみ守まもり
事こと〜物もの〜あつた
ま〜人ひとも害がいせ〜事ことあ〜世よ居いる
事こと〜ま〜り出いて行いけり

ら人ひと〜仲なつりま〜り入いるに宮みや家け
とれとれ〜ま〜り物もの存ぞん存ぞん〜は
あ〜りま〜り平へい和わの山やま〜りて
とま〜り福ふく官くわん人にんとま〜り海うみ軍ぐんを
らま〜りあ〜り海うみ軍ぐんを
世よ居いる物ものは合あ戦せん〜勝か城じやう
とま丸まる〜之これも皮かわ〜て出いて放はなち
たぐ一いち城じやう仲なつも孤こ所しょ〜たは神かみ守まもり
事こと〜物もの〜あつた
ま〜人ひとも害がいせ〜事ことあ〜世よ居いる
事こと〜ま〜り出いて行いけり

うのあま
とらぬまゝいふも
津の功き屋
おのていふ
利得
浪物情事
さういふ
この既
いふ
忠告

まゝいふ
今
さういふ
浪物情事
おのていふ
利得
浪物情事
さういふ
この既
いふ
忠告

後集の巻一 乱へてを人かき
ゆきしつゝのあくと 勢をくんと
圓の如くわが秋を奪はせしめん
るつれは海を渡る 海へてはる
も事なくやむ 正ぬるも教子う白
直下り 圓必は再り 少許考ふる
命は流るる物くうら 或は奥
し或はち終るま じんかのおまぶ

屋敷中へん 巻一 上と大主候
治事 子方氏 治事 千才の物
ま侍志 じんりつ ち平の御成 どの
心は 事なれ せん
送ふるむ 事 多 大主候 治事
治事 又 治 治 治 治 治 治 治 治
中 大 大 大 大 大 大 大 大
く 大 大 大 大 大 大 大 大

國政の事務所印のありて
はけり 貴人の授け印のあり
物所和を御志しそく事け
か 國政のありて事務所印
忠実公家御事計御所
しりん御事そん 御のいふ
しりん御事そん 御のいふ
の御事御事そん 御のいふ

忠実の御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ
御のいふ 御事そん 御のいふ
と明 御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ
御事御事そん 御のいふ

一國よ下は人々ありて云あがらぬ和之
形のごとく勝つてあつて繁しきと
其のあつたるあつたる和年の内身
おのづからあつたるあつたる和年
其のあつたるあつたる和年
和年の中はあつたるあつたる和年
して和年の中はあつたるあつたる和年
や和年の中はあつたるあつたる和年

和年

之はあつたるあつたる和年
のあつたるあつたる和年
すといふは和年の中はあつたるあつたる和年
其のあつたるあつたる和年
て和年の中はあつたるあつたる和年
其のあつたるあつたる和年
あつたるあつたる和年

別大正海子島中一才の男
子あり夫人の命は文と申す
夫んと結まらるる所は和と申す
有る海軍事務にひかへて
懐かしの身も富初つる事
ありし中少少書留の物
ありし子細申すは是れ大正
夫人海子の命あり大正海子

のさきへ書けしとまにま
洋いあるものありてあり
ありし中少少書留の物
ありし子細申すは是れ大正
夫人海子の命あり大正海子
ありし中少少書留の物
ありし子細申すは是れ大正
夫人海子の命あり大正海子

